
べりいけーき

茜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
べりいけーき

【コード】
N9326Y

【作者名】
茜

【あらすじ】
甘くない、甘酸っぱい恋のお話

ぶるるーぐ

ふわりふわりと桜の花びらが舞っている

そんななか、あたしは中3になった

あたしは佐伯夕夏^{さえき ゆづか}

いたって普通の女の子

那奈「夕夏、また同じクラスだね！やったあ！」

真紀「あたしもだよ！」

この二人はあたしの大親友である盛岡那奈と秋山真紀

可愛いんだ（笑）

あたし達のクラスは三階だと確認して教室へと向かった

えっと、席はどこだろ？

那奈「うわあ、夕夏かわいそう」

本当に憐れむような目で那奈がみてる

出席番号は14

席は・・・

一番後ろの隣がない、いわゆる『孤独席』

真紀「ドンマイだよ、夕夏」

最悪ってこーゆーコトを指すんだね・・・

ここから、あたしの中3LIFEが始まった

であい

あたしのクラス40人

担任は若くて面白い、でも厳しいってかんじ

男子は普通の子ばかり

女子はまあまあ可愛い

あたしはHRの時間、こんなことしか考えてなかった

おわるとすぐに那奈と真紀が来た

那奈「女子と男子のレベル差ヤバイねー」

真紀「そうそう。はりあわないよね」

二人は可愛いから、そんなことが言えるんだよ。とあたしは一人思ってた

あたしの学校は中高一貫だから中3でも別に寂しいとも楽しもうとも思わない

ただ普通の毎日だった

4月の最初の授業、つまり3年になって初めての授業は、生物だった

あたしはいつものように那奈と真紀と一緒に生物室へ向かった

あたしの隣に座った男子は知らない子だった

だからといって話しかけようという気は微塵もおきなかった

男子「あんた、名前は？」

うわっ、話しかけられたし・・・

「なんだと思う？」

その時、那奈が夕夏と手をふってきた

男子「夕夏ちゃんてゆーんだ」

これが広太郎との出会い。

めえる1

そんなこんなで夏休みに入った

あたしが所属してる軽音部でも合宿がある

毎年恒例の『好きな人発表大会』では適当に男子の名前をだした

やっぱり彼氏とかほしいなと密かに思った（笑）

帰ってくるにあたしはメールボックスをチェックした

すると・・・

広太郎からメールがきていた

メアド教えてないのに・・・

不思議だったけどメールをひらいた

『羽根木にメアドもらった。いちお、俺のメアド登録しとけ。よろしく』

なんだかドキドキした

（ちなみに羽根木紗英はあたしの幼なじみ）

これって恋・・・なのかな？

確かに広太郎といると楽しい

でも、それは友達としてなんじゃないかな？

あたしはずっと考えてた

〈2学期〉

あたしの学校では全ての行事が9月につまっている

あたしはステージ祭というのに軽音部で出演する

そしたら広太郎からメールがきた

『頑張つて！夕夏を応援してる』

紛らわしいことしないでほしかった

勘違いしちゃうじゃんか・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9326y/>

べりいけーき

2011年11月29日00時57分発行